

アルビオン 平成28年度 入社式を開催

>>>2016.3.31

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長・小林章一)は、3月30日、八芳園(東京・港区)にて「平成28年度 入社式」を行い、204名(営業職14名、研究職2名、生産職5名、BA職183名)の新入社員を迎えました。入社式における小林章一社長の挨拶(要旨)を下記のとおりお知らせ致します。

小林章一社長挨拶要旨

皆様ご入社おめでとうございます。

この度はたくさんの会社の中から私どもアルビオンを選んで頂き有難うございます。皆様と一緒に仕事ができることを本当に嬉しく思っています。

私どもアルビオンは3月2日に創業60周年の記念すべき日を迎えました。この記念すべき年にご入社される皆様にとって大変記憶に残る入社式になるのではないかと思います。



後悔のない人生を

人生はたった一回です。皆様には人生の中でたくさんの時間をアルビオンの仕事に費やして頂くことになります。

ぜひ、自分自身精一杯やったと悔いのない人生を歩んで頂きたいと思います。勿論、苦しいことやたくさんの失敗もあると思います。私の人生も9割以上は失敗でした。でも諦めないで一生懸命努力を続けていけば1割の感動があります。

皆様には、あれをやっておけば良かったなという後悔のない人生を歩んで頂きたいと思います。

お客様お一人おひとりの喜びとご満足を追求する

アルビオンは大手に比べて規模は小さい会社ですが、「世界一のプレステージメーカーになる」という大きな夢があります。

その夢の実現の為に、アルビオンは社会、お客様、お得意先様、そして会社の皆様から信頼・信用される会社でありたいと思います。当然、売上や利益も大事です。しかしアルビオンにとって一番大事なものは「人」です。人と人との信頼関係を大切にし、その上でお客様お一人おひとりの喜びとご満足を追求できる会社でありたいと思います。

いくらお買い上げ頂いたということ以上に、「今日アルビオンのコーナーに行って良かった」「あの美容部員さんに会えて元気になった」とお客様に思ってもらえる会社を目指して頂きたいと思います。これから皆様は教育に入り、理論や理屈、技術も学んで頂きますが、それ以上に大切なことは、理論や技術ではお客様の心の扉は開かないということです。本当にお客様に綺麗になって頂きたいというひたむきな思いこそがお客様の心の扉を開くのだと思っています。

感謝の気持ちを忘れずに

皆様には様々な部署でお仕事をして頂きます。例えば店頭でお仕事をしていると、発注した商品が指定した期日に当たり前のように届きます。しかしそうした店頭の裏側では、様々な方々が一生懸命汗を流して仕事をされていることを忘れず、色々な方々の努力があって今の自分があるという感謝の気持ちを常に忘れずに仕事をしてください。

一流に触れること

皆様へのお願いですが、出来る範囲で結構ですので一流に触れる機会を作って頂きたいと思います。銀座の高級ブティックに入る、美術展に行く、オペラやクラシックコンサートに行く、美味しいものを食べに行くなど何でも結構です。必ず何かを感じて頂けると思いますし、今後の皆様のお仕事に役立っていくと思います。会社側も皆様に一流に触れて頂く機会を出来る限り作っていきけるようにしたいと思います。

アルビオンは創業60周年。全く無名の頃からお客様お一人おひとりを獲得して、一生懸命努力頂いた先輩方、そして会社の歴史に感謝をするとともに、また、仕事の中身は今の時代のお客様に合わせてどんどん変えていきたいと思っています。

世界一のプレステージメーカーを目指して、一緒に新しい歴史を作っていきましょう。